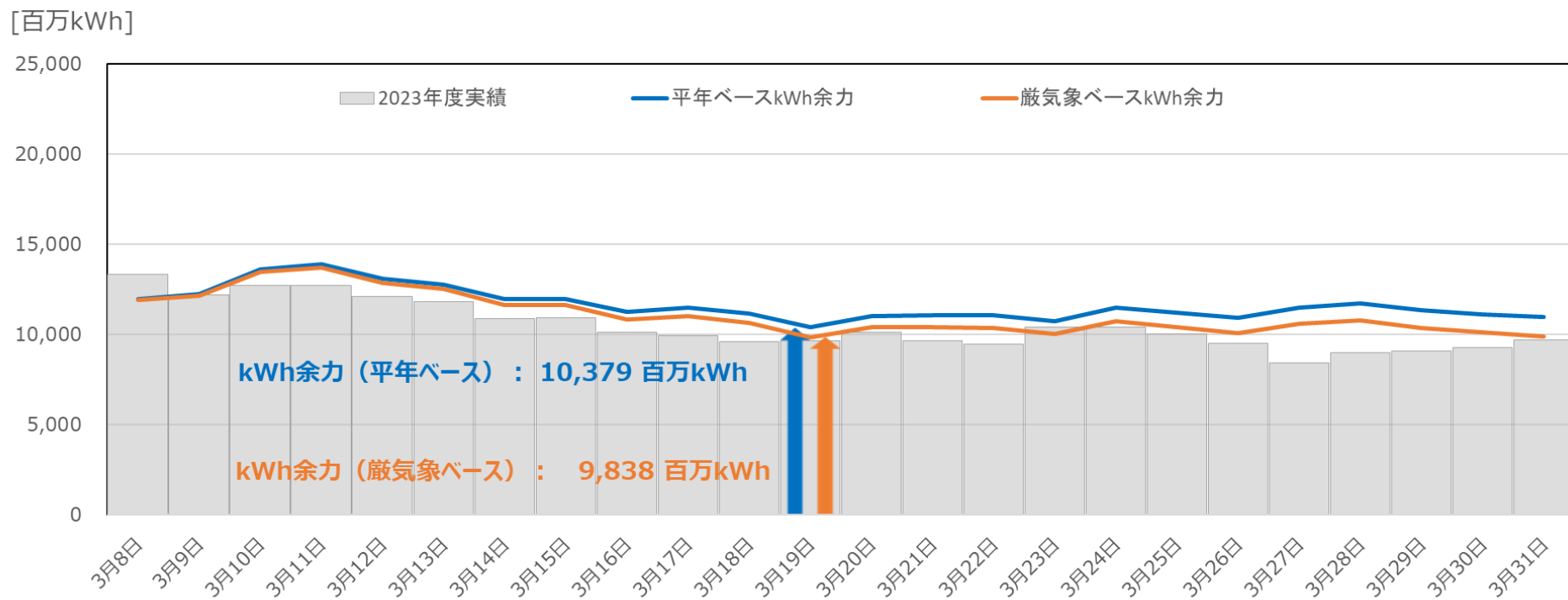


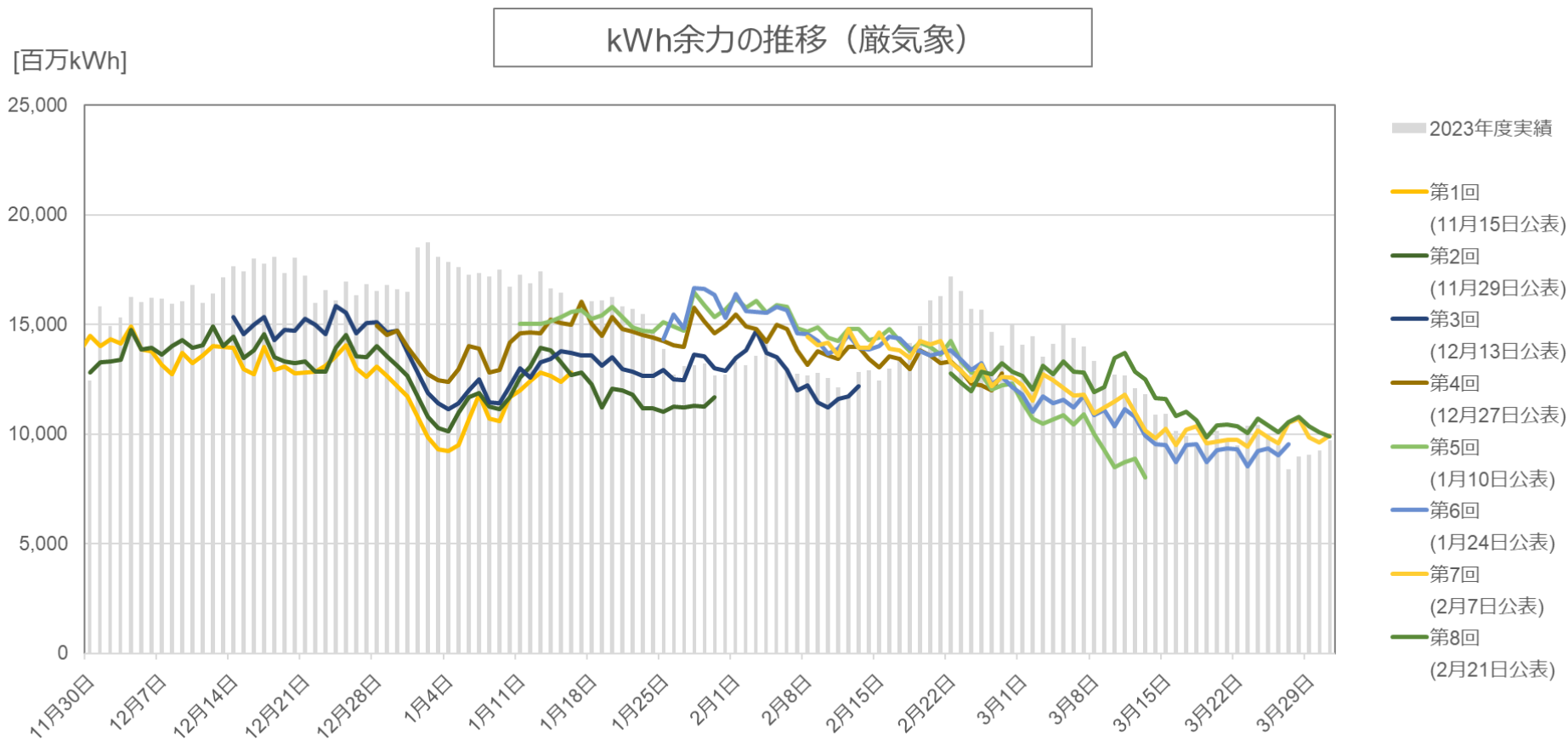
kWhモニタリング（対象期間: 3 / 8 ~ 3 / 3 1）の結果

- 今後、平年並で需要が推移すると、kWh余力は3月19日に最小となる見込み。その値は **10,379百万kWh** であり、これは、対象期間の平均電力消費量の**約5日分**に相当。
- 厳気象ベースで需要が推移すると、kWh余力は、3月19日に**9,838百万kWh**となる見込み。これは、対象期間の平均電力消費量の**約4日分**に相当。
- 前回から傾向に大きな変化はなく、厳気象ベースでも3月末までのkWh余力が確保されていると判断したため、今冬のkWhモニタリングは終了する。
- 夏季にはモニタリングを再開し、引き続き確認を行っていく予定。



kWhモニタリングの結果（これまでの結果との比較）

- 前回（第7回）のkWh余力（厳気象ベース）を、上回る水準で推移。
- 一部事業者の燃料調達等の影響で、3月中旬のkWh余力が増加。



注：上記kWh余力の推移のうち、始めの2週間は気象予報を基にした需要を用いて算定したものであり、厳気象を想定した推移ではない